

民生委員・児童委員の活動を発信!!

Well ウエル おおさか

Vol. **39**
2018
summer
7月



岬町長松自然海浜 夕陽スポット

岬町「淡輪海水浴場(ときめきビーチ)」

特集

第70回
大阪府民生委員
児童委員大会

大阪府民生委員(方面委員)
制度創設100周年記念事業

◎イキイキ ハツラツ
民生委員・児童委員さん
岬町民生委員児童委員協議会

民児協だより
豊中市民児協連／寝屋川市民児協
富田林市民児協／忠岡町民児協

読者プレゼント

＼ たくさんのご応募お待ちしております! /

詳細は、
P14を
みてね!



みどりのいぶき
～奥河内アソートギフト～

4名様

大阪府民生委員(方面委員)制度創設100周年記念
第70回 大阪府民生委員児童委員大会



大阪で誕生した方面委員制度が創設100周年を迎えるにあたり、5月21日、大阪城ホールにて記念式典を開催しました。当日は、来賓の方々をはじめ大阪府内の民生委員・児童委員、退任された委員など約7500名が出席しました。



特集1

大阪府民生委員(方面委員)
制度創設100周年記念

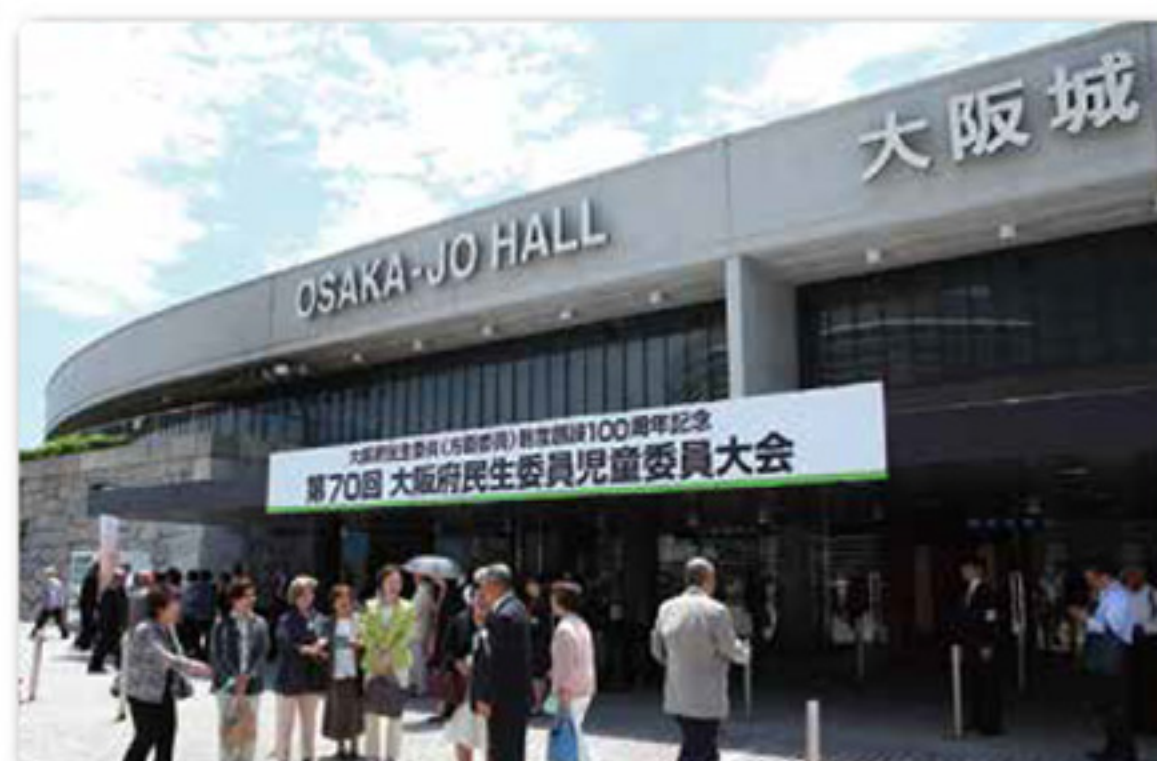
第70回

大阪府民生委員児童委員大会

～人々に よりそい100年 これからも～

日時 平成30年5月21日(月) 13時～16時

会場 大阪城ホール



大阪府民生委員児童委員協議会連合会(大阪府民児協連)の野口良美副会長の「開会のことば」で第一部式典が開幕。来場者全員による「民生委員児童委員信条」や「児童憲章前文」を唱和のあと、主催者あいさつがありました。

はじめに、松井一郎大阪府知事が、「民生委員制度が100年間、社会の支持を得てきたのは、その礎を築いてきた先達と、伝統を受け継ぎ活動してきた皆様方のご努力の賜物。少子高齢化、核家族化の進行、地域のつながりの希薄化など、地域を取り巻く環境は大きく変化し、地域住民が抱える課題も生活や経済面、子育ての不安など、複雑かつ多様化している。こうした課題に対し、住民にとって、身近な相談者、支援者であり、地域福祉の中心的な役割を担う皆様のお力が欠かせない。大阪府としても、誰もが住み慣れた地域で、自分らしく暮らしていけるよう、地域共生社会の実現に向け、積極的に取り組んで参りたい」とあいさつしました。

開会のことば



大阪府民児協連
のぐち よしみ
野口 良美 副会長

児童憲章前文朗読



大阪府民児協連
つむら えいこ
津村 英子 副会長

信条朗読



大阪府民児協連
しんしょう けいこ
新庄 桂子 副会長



主催者あいさつ



大阪府社会福祉協議会
こにし ただかず
小西 禎一 会長



大阪府民児協連
いしはら よしこ
石原 欽子 会長



大阪府
まつい いちろう
松井 一郎 知事

次いで、大阪府民児協連の石原欽子会長が「少子高齢化や地域のつながりの希薄化が進む中、地域では、孤立や虐待、ひきこもりなど、さまざまな福祉課題が顕在化している。大阪府民児協連では、100周年記念事業として、社会的に孤立している人々への支援や大阪府市町村社会福祉協議会連合会と協働アピールとして掲げた、地域での連携した見守り支援の推進、また、民生委員・児童委員の認知度向上や担い手確保をめざしたPR活動の強化に取り組んで参りたい。『人々に よりよい100年 これからも』のスローガンにあるように、地域住民の良き隣人として活動を進め、あらゆる人々が地域社会の一員として支え合い尊重される『福祉と共生のまちづくり』の実現に取り組んで参りたい」と述べました。

大阪府社会福祉協議会の小西禎一会長は「少子高齢化の進行や格差の拡大とともに、社会的孤立や経済的困窮、課題を抱える家庭など、福祉課題は複雑多様化している。また、地域や家庭の支える力が弱くなるなど、個人や世帯の抱える困り事を我が事として捉え、縦割りではなく、丸ごと引き受ける地域共生社会の実現が

来賓祝辞



大阪府市長会
さかくち しんろく
阪口 伸六 会長



大阪府議会
おおはし かずのり
大橋 一功 議長



全民児連
とくのう きんいち
得能 金市 会長



厚生労働省 近畿厚生局
つかはら たろう
塚原 太郎 局長

求められている。大阪府社会福祉協議会としても、『出かける、つながり、創る』を合言葉に、生活困窮者自立支援事業や大阪しあわせネットワークの推進、福祉現場における人材確保と定着の取り組み強化などに努め、誰もが安心安全に支え合って暮らしていける『福祉と共生のまちづくり』の実現を目指して参りたい」と述べました。

来賓祝辞では、全国民生委員児童委員連合会の得能金市会長が、「方面委員制度を創設した林市藏氏が、民生委員制度の根本として大切にした『無報酬の報酬』にもあるように、私たちの先達は100年にわたり、強い使命感と情熱をもって住民に寄り添い、社会福祉の発展、向上に尽力してきた。その思いは今日まで脈々と引き継がれており、こうした努力が人々の信頼につながってきた。全民児連では、100周年活動強化方策に基づき、全国の民生委員が力を合わせ、笑顔、安全、安心のための取り組みを推進。先達から受け継いだ想いや情熱、民生委員児童委員信条を胸に、これからも住民の良き隣人であることが、私たちの変わることなき使命であると思う」と述べられました。

表彰状・感謝状を 受けられた方々



大阪府知事表彰
永年勤続民生委員会長・
副会長表彰(10年勤続) 6名

代表 富田林市民児協
原山 信雄さん



大阪府知事表彰
永年勤続民生委員会長表彰
(10年勤続) 1名

守口市民児協
小川 勝さん



厚生労働大臣特別表彰 12名

代表 寝屋川市民児協
別府 五男さん



大阪府知事表彰
優良民生委員表彰
(10年勤続) 418名

代表 大阪狭山市民児協
夏目 幸子さん



大阪府知事表彰
永年勤続民生委員表彰
(20年勤続) 19名

代表 茨木市民児協
畑 富男さん



大阪府知事表彰
永年勤続民生委員
副会長表彰(10年勤続) 2名

代表 大東市民児協
中山 紀子さん



社会福祉事務職員に対する
大阪府民生委員児童委員協議会
連合会会長感謝状 69名

代表 寝屋川市民児協
濱吉 信彰さん



大阪府民生委員(方面委員)
制度創設100周年記念知事
特別感謝状 142名

代表 大阪市民児協
岩上 昭信さん



大阪府知事表彰
優良主任児童委員表彰
(10年勤続) 43名

代表 柏原市民児協
吉見 静香さん

続いて、表彰状授与式では、645名の民生委員児童委員と69名の福祉事務職員が表彰され、代表者に表彰状、感謝状が授与されました。
本大会では、100周年を記念して、知事から特別感謝状が贈呈されました。

大阪府知事表彰
永年勤続主任
児童委員表彰
(20年勤続) 2名

閉会のことば



大阪府民児協連
ぎし きよのり
義之 清規 副会長

最後に、誰もが笑顔で、安全に、安心して暮らせる「地域共生社会」の実現に向けた取り組みを第70回大会宣言として採択し、第一部を終了しました。
第二部の記念講演後、第三部では、民生委員の歌「花咲く郷土」を参加者全員が一つになって斉唱し、記念式典は盛況のうちに幕を閉じました。



大会宣言



大阪府民児協連
ふじわら まさはる
藤原 雅晴 副会長

現在の民生委員制度の前身である方面委員制度が大正7年、大阪で創設され、100周年を迎えました。

方面委員制度は、方面委員が一定の区域を担当し、訪問調査等により世帯の状況を把握し、要援護者の救済を行おうとするもので、その後全国に広がり、現在の民生委員制度の基礎として受け継がれています。

100年にもおよぶ歴史のなかで、社会情勢や人々の生活課題はさまざまに変化してきましたが、私たち民生委員・児童委員は、強い使命感と熱い情熱を胸に、常に「良き隣人」として地域住民に寄り添い歩んできました。人々の身近な相談相手として、行政や専門機関などへのつなぎ役として、また、全国の委員が参加した「モニター調査活動」では社会の見えづらいつらい課題を明らかにし、その課題解決にむけて制度施策化を働きかけるなど、知恵と力を出し合いながら、地域福祉の推進に貢献してきました。

今、わが国では、少子・高齢化や地域でのつながりの希薄化が進むなか、さまざまな課題が顕在化し、深刻化しています。また、相次ぐ大規模自然災害の被災者は今もなお厳しい状況に置かれたままになっています。地域を基盤として、さまざまな課題を抱える要支援者を「丸ごと」受けとめ支え合うことのできる総合的な支援のしくみづくりが求められています。

本日ここに、誰もが笑顔で、安全に、安心して暮らせる「地域共生社会」の実現にむけて、これからも人々に寄り添い続け、地域福祉推進の担い手として新たな歴史の一步を踏み出すにあたり、次のとおり宣言します。

大会宣言

一、住民一人ひとりの置かれている状況や思いを真摯に受け止め、常に住民の立場に立った活動を行います。

二、「地域共生社会」の実現にむけて、地域の活動団体との連携を強化し、地域のつながりづくりを進め、住民参加による支えあいのまちづくりに取り組みます。

三、さまざまな課題を抱える人々を支えるために、わたしたちの活動の役割や強みを見直す機会をもち、地域の関係機関・団体等との連携の幅を広げながら支援に取り組みます。

四、子育て中の家庭を支えるとともに、子どもを虐待や犯罪被害、貧困の連鎖などから守り、子どもが健やかに成長できるよう、子どもたちの「身近な大人」となり、地域の「子育て応援団」となって活動します。

五、方面委員制度創設100周年を機に先達の思いと活動の歴史を振り返り、活動の二層の充実・発展に向けて取り組みを進めるとともに、広く社会に民生委員・児童委員の活動を発信し、理解を広げます。

平成30年5月21日

大阪府民生委員（方面委員）制度
創設100周年記念
第70回大阪府民生委員児童委員大会

どうなる日本!? 少子高齢化時代を読み解く



記念講演では、キャスターやニュース解説者としても活躍中の辛坊治郎氏を招き、日本が抱える少子高齢化問題をテーマに講演。

民生委員・児童委員の重要性が増す長寿社会において、今後100年間、皆さんのますますの活躍を祈っていますとお話しされました。

記念講演



(株)大阪総合研究所代表 辛坊治郎氏

100周年記念パネル展

大阪城ホールの通路では、民生委員制度の歴史や林市蔵の精神を振り返るパネル、現在の民生委員・児童委員の活動を紹介するパネルを展示しました。



特集2



三者の会長が除幕を行いました。

献花式の様子
(右手前が新設した記念碑)

大阪府民生委員(方面委員)制度創設100周年記念事業

大阪府民児協連では、100周年記念事業として、記念大会の開催とともに、記念誌の発行や広報・PR活動、調査研究事業などさまざまな取り組みを実施しています。

民生委員・児童委員の日 〈大阪府・大阪市・堺市 共同実施〉

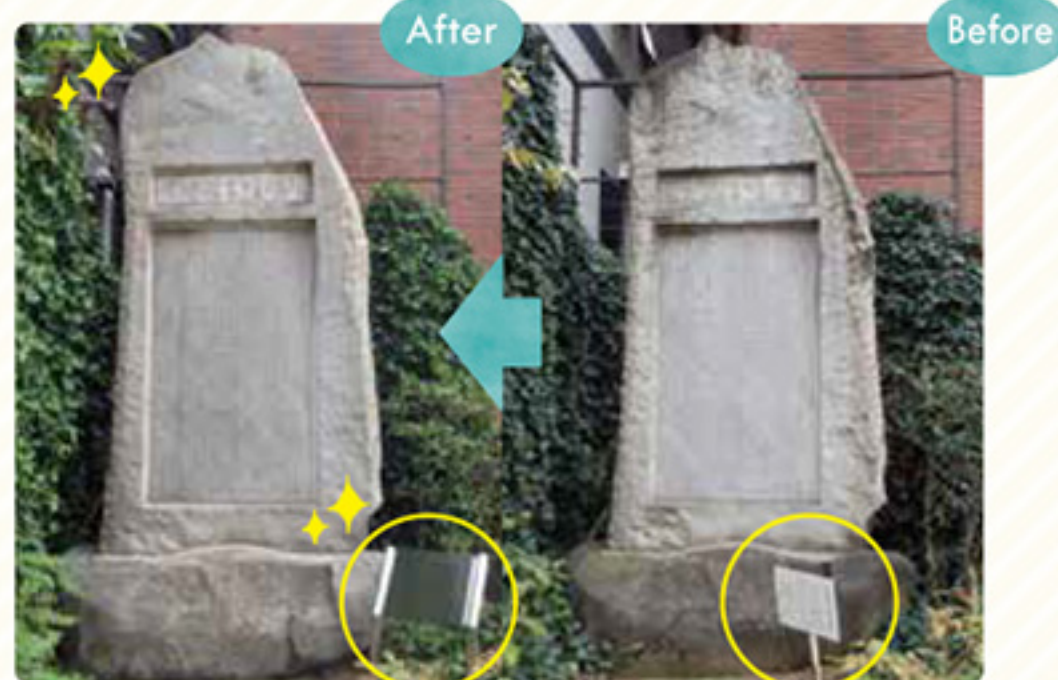
平成30年5月12日(土)

- 10:00～ ●大阪府民生委員(方面委員)制度創設100周年記念碑 除幕式
●林市蔵像 献花式
- 11:15～ ●街頭啓発キャンペーンの実施
なんばウォーク(くじらパーク)
高島屋前(高島屋正面入口前)
マルイ前(御堂筋側)



大阪府民児協連、大阪市民児協、堺市民児連の三者共同で淀屋橋の大川町公園(大阪市中央区北浜4丁目)にある林市蔵元知事の銅像の横に100周年記念碑を設置し、5月12日に除幕式を行いました。また、大阪府社協(大阪社会福祉指導センター)前にある頌徳碑の案内板を更新しました。

100周年記念碑 小河滋次郎博士頌徳碑 案内板設置



小河滋次郎博士 頌徳碑



リーフレット
ウェットティッシュ



大阪府「民生委員・児童委員活動の見える化プロジェクト」に参加し、「民生委員・児童委員サポーター」となった大学生にも協力をいただきました。

今年度は100周年の節目を迎えることから、大阪府内全域(大阪府・大阪市・堺市)で共同して一斉啓発活動に取り組みました。

啓発キャンペーン

5月12日から1週間の「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」では、大阪府内での広報・PR活動を毎年呼びかけています。

わたしたちは、情報共有をすすめ、住民のつながりづくりをはじめとする地域全体の見守り支援に取り組めます。

わがまちで、個人情報やプライバシーの保護にも留意しつつ、気がかりな人の情報や地域全体の困りごとを、地域の福祉委員や民生委員・児童委員が受け止め、共有する場をつくります。

(情報共有、協議ができる場づくり)

わがまちで、地域の民生委員・児童委員や福祉委員が協働して、他の地域団体などとも連携しながら、地域全体で見守り支援ができる体制づくりをすすめます。(連携・協働による見守り支援)

わがまちで、お互いを気かけあう地域づくりにむけ、地域力を一層高めるため、住民同士のつながりを創る場づくりをすすめます。(担い手・地域のつながりづくり)

「地域での連携した見守り支援の推進」に向けた協働アピール



市町村社協連合会と協働アピールを締結

地域での連携した見守り支援の推進を図るため、平成29年度に大阪府民児協連は、大阪府市町村社会福祉協議会連合会と協議の場をもち、見守りに必要な情報共有のあり方や、民生委員・児童委員が地区福祉委員や自治会等と一緒に地域で活動していく中で必要なことなどについて協議を重ねました。

協働アピールを締結した今後は、地域でのゆるやかな見守り支援体制づくりや住民同士のつながりを創る場づくりができる地域をめざして、連携した取り組みを進めていきます。



平成30年4月18日に調印式を行いました。

左 大阪府市町村社会福祉協議会連合会 榎谷佳純会長

右 大阪府民生委員児童委員協議会連合会 石原欽子会長

- ① あいさつや声かけ、訪問活動を通じて地域住民とのつながりを強化しよう!
- ② 助けあいのできる、SOSを出しやすい地域づくりを進めよう!
- ③ 関係機関や校区福祉委員会等との連携を強化し、地域の力を高めよう!
- ④ 地区委員会等で事例検討を実践し、活動を見直す機会をもとう!
- ⑤ 学びの場をつくろう!
- ⑥ 全委員による児童委員活動を推進しよう!
- ⑦ 連携の幅を広げよう!



(平成30年3月発行)

調査研究事業 社会的に孤立している人々への支援にむけて



平成29年度の成果として

平成29年度から調査研究委員会を立ち上げ、ヒアリング調査や個別支援事例研究を実施しました。

誰にも相談できず、地域で孤立している人を早期発見するためにどうすればよいか、民生委員・児童委員がひとりで抱え込まずに支援を行うために必要なこと等について協議を重ね、昨年度末に報告書としてまとめました。



市町村民児協での実践へ

今年度は、報告書に調査研究事業の成果として示した「社会的に孤立している人々への支援にむけての取り組み」(上記参照)について、全民児連「民生委員制度創設100周年 活動強化方策」と関連づけながら、地域特性に応じた実践につなげていく年と位置づけています。

地区委員会等での事例検討の実施や、居場所づくりへの参加、地域住民や関係機関の関係者等を巻き込んだ研修会の開催、民生委員・児童委員と主任児童委員との連携・協働や関係機関や校区福祉委員会等との連携強化など、地域のニーズに合わせた取り組みを呼びかけていきます。



民生委員・児童委員さん

● 岬町民生委員児童委員協議会 ●

知的障がいへの理解を深める
交流会や勉強会を実施

知的障がい子どもたちに、毎年「バーベキュー大会」でおいしい焼肉をふるまう岬町民児協の皆さん。今年は、実行委員会を立ちあげ、勉強会を実施するなど、知的障がい者施設との交流にさらに力を入れる岬町民児協の活動についてご紹介します。



子どもたちの大好きな バーベキューで楽しく交流

岬町民児協では、障がい者の方々との交流を図るため、毎年、知的障がい者施設で「バーベキュー大会」を開催しています。昨年までは、知的障がい者総合福祉施設「愛の家」と「工房みさき」の2か所で行っていましたが、今年、初めて合同で開催。5月12日、愛の家に、知的障がいのある子どもや大人、施設職員、民生委員、学生ボランティアなど、総勢200名が集まり、「バーベキュー大会」が行われました。

「施設の子どもたちは、みんな牛肉が大好き。バーベキューの臭いがしはじめたらみんなソワソワ」と民生委員の川島さん。障がいによっては咀嚼が困難な子どももいるので、お肉を細かく切るなど特別食も準備。全員に配り終わらないうちに「おばちゃんおかわり！」と催促する子もいるなど、子どもたちは皆お肉をとっても喜んで食べてくれるそうです。



ドラム缶コンロを4台用意し、民生委員がお肉やソーセージ、焼きそば、おにぎりなどを振る舞いました。

食事のあとは、学生ボランティアさんが歌を歌ったり、楽器演奏するなど、施設の皆さんと一緒にレクリエーションを楽しみ、民生委員も歌謡曲や河内音頭で会場を盛りあげました。

バーベキュー大会の 実行委員会を設立

このバーベキュー大会がはじまったのは20年ほど前、大阪府民児協連の助成金を使って取り組みをはじめたことがきっかけです。毎回好評で、岬町民児協と障がい者施設の20年も続く定例行事となりました。

一昨年、創設60周年を迎えた岬町民児協では、会則をはじめ年間行事や予算など、全ての活動を見直すことに。そこで、バーベキュー大会の実行委員会を立ちあげ、民生委員5名・施設職員2名で話し合いを進めてきました。

昨年までは、「日程を決め、お肉を焼いて食べてもらう」というだけのものでしたが、今年は、施設の方と民生委員との懇親会も兼ねて、事前に勉強会を開催する運びとなりました。



よしこ
左より川島宜子会長代理、茂野百合子副会長、
和田博之会長、出口正通副会長、吉田文代副会長



「障がい者施設のある地域とない地域では、民生委員の中にも温度差がある。これからも勉強会や施設行事などを通じて理解を深めていきたい」と話す岬町民児協のみなさん。

勉強会を通じて 知的障がいへの理解を深める

3月に開催された勉強会には、岬町の民生委員約50名が参加。DVDを視聴し、「愛の家」の成り立ち、歴史、利用者の方々の紹介などがあり、居室やバスルームなどの施設見学も行われました。

「皆さん、参加してすごく良かったとおっしゃっています。交流会をする意義も理解できたし、私自身も勉強になりました。来年からも継続してやっていきたいですね」と和田会長。

「民生委員の中には、施設の子どもたちともしっかりと交流したいという声も多かったんです。でも、実際には交流が難しい子も多いんですね。施設見学で子どもたちのようなすの目の当たりにし、障がいのある子どもたちとの接し方や理解が深まったように感じます」と日頃から施設と親交のある川島さんは話します。

地域で困っている方々と 施設をつなぐ存在に

「今年は、バーベキューが終わった後、施設長がお礼を言いに来てくださいました。施設の職員さんとコミュニケーションが図れたことも、非常に大きいです」と和田会長。「こうして民生委員の皆さんや地域の方々に活動を理解していただけるのは、ありがたいことです。地域に住んでいて、支援が行き届かない方たちこそ、私たちの対応が必要ではないかと思っています。地域で困っている方々や施設利用者と地域をつなぎ続けていけたらと思っています」と話します。

表紙写真の周辺地図をご紹介します！

淡輪海水浴場 (ときめきビーチ)

関西国際空港や淡路島を一望できる岬町の海岸。「日本の夕陽百選」に選ばれた夕陽を見に行ってみませんか？



岬町民児協では、今後、施設の年間行事にもできるだけ参加したいと考えています。日程調整など施設と話し合いを進め、今年初の試みとして、まずは10月の運動会への参加を計画するなど、さらに活動の幅を広げていく予定です。

民児協だより

【北摂ブロック】

豊中市



第7回豊中市民生委員・児童委員大会

方面委員制度創設
100周年を記念して
第7回豊中市民生委員・
児童委員大会

今年度の豊中市民生委員・児童委員大会は、方面委員制度創設100周年として、昨年東京で開催された全国民生委員児童委員大会で講演頂いた、諏訪中央病院名誉院長の鎌田實さんをお招きし、民生委員・児童委員だけでなく

広く一般・関係団体の方々にもご案内して、記念講演会を開催しました。

「あたたかい社会をつくる」と題し、医師としての地域での活動や、海外での支援活動などの話をいただき、参加者は1,000人を超える盛り上がりとなりました。



表彰状授与

また、当日は民生委員・児童委員活動を広く周知するためにPRリーフレットやウェットティッシュの配布も行い、民生委員・児童委員を知ってもらう良い機会となりました。



第12回全国校区・小地域福祉活動サミットin豊中のチラシ

第12回全国校区・小地域
福祉活動サミットin豊中

豊中市社会福祉協議会主催事業として行われる校区サミットを、民生委員・児童委員の全体研修と位置づけ、豊中市民生・児童委員協議会連合会、協議会として協力をしていきます。

本市の活動を伝え、また他市の活動を知ること、これからの活動の一助となることを期待しています。

豊中市民児協連



講師の日浦教授の話に聞き入るみなさん

【河北ブロック】

寝屋川市

全員参加の部会

平成23年度から部会の構成が変わり、22小学校区代表参加型から全員参加型になりました。

- 1期目（1～3年）関係機関研究部会
- 2期目（4～6年）高齢者福祉部会
- 3期目（7～9年）児童福祉部会
- 4期目（10～12年）地域福祉部会
- 5期（13年）以上は「五期会」とし、日々研修を重ねて資質向上をめざしています。



グループ内で意見を出し合っているようす

1期目の民生委員・児童委員は3年間、行政、関係機関とのつながりや様々な方法など学びます。

研修や他校区と情報交換していく中で何をすべきか、それぞれが自覚し地域での活動に役立てています。

「初めは緊張感があったが、徐々に気負わなくてもいいのだ、と気持ちが軽くなり研修を受けて良かった！」という声がかかります。

ベテラン委員83名の「五期会」は、今期のテーマを「子ども」として子どもをとりまく現在の状況など講師を招いて勉強会を開催。

今年度は事例発表の企画を予定しています。

一方的に聴くだけでなく全員、しゃべって欲しいという願いで、グループに分かれています。時々テーマから脱線したり、みなさん、熱心で楽しい雰囲気の中で学んでいます。

今後、自己研鑽の場としての部会の研修を充実させ、地域住民によりそえる活動を目ざしていきたいと思っています。

寝屋川市民児協



みんなで話し合っ…まとめ役の委員さんはたいへん



民児協だより



親子で楽しくピラティス

お揃いのエプロン姿で、
お手伝いの大学生



【河南ブロック】

富田林市

子どもの笑顔あふれる 『すばる』キッズアートフェスティバル

より多くの親子に参加してもらい、体操・歌・工作などいろいろなことをして、楽しく過ごします。

富田林市民児協では、子どもたちの豊かな感性の育成を目的に、親子でアートと触れ合える機会として開催されている『すばるキッズアートフェスティバル』に協力し、「おやこひろば」を実施しています。この催しは、午前の部の親子ピラティスと午後の部の親子いっしょに歌・手遊び・工作の二部構成になっています。

親子ピラティスでは、お父さんやお母さんが子どもを膝上に乗せて揺らしたり、横向きに抱きかかえてスクワットをしたり、その度に子どもたちの歓声があがります。

大人気の親子ピラティスは、参加者の入替えを2回行い、参加した親子の表情はとても晴れやかでした。

午後の部は、ママさんコーラスの歌で始まり、子どもたちは手遊びや楽しい歌を熱心に聴き入っていました。

続いて、親子で協力して糸電話やアンパンマンをかたどったボールとペットボトルを切って、キャッチャーを作りました。

子どもたちが紙コップから聞こえる声に驚いたり、また、カラフルなシールを思い思いに貼り付け、目を輝かせて夢中になって作っているようすは、微笑ましいものでした。

今回は、民生委員・児童委員の活動研修として、4名の大学生が参加しま



糸電話を耳にあてて、ビックリ!



アンパンマンキャッチャー

した。子どもたちと遊んだり、富田林市のゆるキャラ『とっぴー』に扮したり、活躍してくれました。

また、「おやこひろば」だけでなく、妊娠中のお母さんや小さな子ども連れの保護者にも生の音楽に触れる機会を提供し、のびのびと過ごしてもらいたいと願い「マタニティ・子育て中コンサート」も開催しています。

このように、富田林市民児協では、子育て中の親や周りの大人が、心に余裕をもって子どもたちと接していけば、子どもたちはのびのびと成長できるのではないかと、のびのびと成長できるの催しを実施しています。

富田林市民児協



子どもが幼稚園の時から、気の合ったママさんと結成したコーラスグループ



絵本の朗読

【泉州ブロック】

忠岡町



みんなでダンス

『ふれあいコンサート』



勝元会長の開催あいさつ

忠岡町民児協は、平成24年度から、忠岡町ふれあい大会で、子どもたちや家族の方々と民生委員・児童委員が交流する、ふれあいコンサートを開催してきました。ふれあいコンサートは、紙芝居や楽器演奏など誰もが楽しめるものになっていきます。

毎年、プログラムの内容が変わり、29年度は「かいじゅうたちのいるところ」という外国の絵本を題材にして、民生委員・児童委員が

怪獣になりきって、絵本の朗読や踊りを披露しました。

また、コンサートを指導して下さる講師の方に作曲していただいた、忠岡町民児協の歌「ゆめまち・みらいまち忠岡町こどものうた」を合唱しました。

披露できればと考えています。このコンサートを通じて親子の触れ合い、子ども同士の関わり、保護者の輪を広げる良い機会となっています。

今後も忠岡町民児協一丸となり、地域福祉の担い手として地域の輪を広げていく所存です。

忠岡町民児協

【ゆめまち・みらいまち忠岡町こどものうた】

作詞・作曲／ピアノ（西宮市立甲子園小学校勤務）大藪真紀子

頭の丸い
可愛いきのこ
もうすぐ
いっぱい
によきによき
生えてくるよ

タオルの中で
すくすく育つ
可愛いきのこ
いっぱい
によきによき
生えてくるよ

忠岡町は
子どもの笑顔と
パパ ママ
おじいちゃん おばあちゃん
民生委員のおじちゃんおばちゃん
みんなみんな元気
いっぱい！

大人になって
いよいよ君が
主役さ
そうさ！
素敵な町にしてね

忠岡町大好き！
大人も子どもも仲良し
忠岡町大好き！
大人も子どもも
みんなみんな
仲良く暮らそう
素敵な町

日本で一番小さな町忠岡町
だけど
日本で一番大きな夢を育てている
日本で一番小さな町忠岡町
だけど
日本で一番大きな夢を育てている

大きな大きな未来の夢
忠岡町

今号では、地域での主任児童委員の活動にスポットをあてました。河内長野市民児協の主任児童委員活動についてご紹介します。

「みんなあつまれ」 ロール紙芝居や パネルシアターの披露



河内長野市民児協の主任児童委員部会では、年に3回程度、未就学園児向けにロール紙芝居とパネルシアターを披露する「みんなあつまれ」を開催しています。平成19年にはじまり、今年で11年目です。



今年度1回目は、4月26日に河内長野市立子ども・子育て総合センター「あいっく」にて開催されました。



すべて主任児童委員の手作りでできています。

本番までに何度もリハーサルを行い、ナレーションやセリフにあわせた人形の動きや紙ロールを回すタイミングを練習します。

親どうし、親子と主任児童委員のつながりづくりの場となり、主任児童委員のPRの機会にもなっています。



おそろいのエプロンを着て、チームワークもばっちりです。

小学校の休憩時間に実施する 「ほっとタイム」

南花台地区には、主任児童委員と区域担当児童委員が市立南花台小学校の20分休憩に訪問し、子どもたちと一緒に遊ぶ「ほっとタイム」という活動があります。家族や友だち、学校の先生にもいえない悩みなどを相談してもらえようになればと、5年前からはじまりました。



毎回30名くらいの子どもたちが「わくわくルーム」に集まります。



委員も楽しみながら活動しています。

子どもたちと一緒に遊びながら見守ります。委員に抱きついてくる子どももあり、子どもたちと委員のコミュニケーションを深める場となっています。

「児童委員さんには子どもたちとその家庭が地域でお世話になるので、子どもたちのことをよく知ってもらえたらと思っています」と宮城教頭は話します。

「子どもたちの身近なおとなり、なんでも話してもらえ存在になれるようにがんばります」と主任児童委員部会部会長の山本さん。

家庭や地域の状況をよく知っている委員らと学校とが連携することで課題の早期対応につながっています。



(後列左から)森本宏司校長先生、宮城正樹教頭先生
(前列左から)内海多英子さん(児童委員)、
山本淑子さん(主任児童委員)、北山京子さん(児童委員)

たくさんの
ご応募お待ちしております！

河内長野市の特産品である「天野酒」の酒粕
を使って作られています。スイーツ甲子園※
大阪大会グランプリに選ばれた製品です！



みどりのいぶき 4名様 ～奥河内アソートギフト～

酒粕クッキー、酒粕フィナンシェ、酒粕シフォンラスクのセット
(※ラッピング等内容に変更がある場合があります)

応募方法

必要事項をもれなくご記載いただき、締切日までにFAX
または本会ホームページの応募フォームからご応募ください。

応募締切 平成30年8月17日(金) 午後5時必着

必要事項

- ①氏名 ②ふりがな ③住所 ④電話番号
- ⑤所属(民生委員・児童委員以外の場合)
- ⑥本誌へのご意見・感想
(おもしろかった記事、取りあげてほしい企画など)

宛 先

大阪府民生委員児童委員協議会連合会事務局

[FAX] 06-6762-9487

[H P] <http://www.osakafusyakyō.or.jp/minkyō/>

〈100周年記念号の当選者〉

おめでとうございます! 皆様ご応募ありがとうございました!

枚方市O・Kさん、K・Kさん、守口市T・Mさん、N・Sさん、高槻市Y・Iさん、
岸和田市K・Sさん、八尾市T・Hさん、河内長野市C・Tさん、D・Tさん、H・Yさん

※スイーツ甲子園…障がい福祉事業所が製造する商品(菓子)
のレベルアップと販路拡大を目指すコンテスト。
兵庫県の主催により平成21年度から実施されています。



■大阪歴史博物館で方面委員に関する特別展が開催されます!

100周年記念 大阪の米騒動と方面委員の誕生

大正7年(1918)に都市部を中心に起きた米騒動と、騒動を受けて同年に創設された大阪府方面委員(現民生委員の前身)。それぞれの意義について、方面委員による活動や貧しい人びとの生活にふれながら明らかにします。

会 期 平成30年10月3日(水)～12月3日(月)(※火曜日休館)

会 場 大阪歴史博物館 6階特別展示室(※特別展観覧券が必要です)

〒540-0008 大阪府中央区大手前4-1-32

TEL:06-6946-5728 FAX:06-6946-2662

(最寄駅)地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅②号・⑨号出口

シティバス「馬場町」バス停前

開場時間 午前9時30分から午後5時00分まで

(会期中の金曜日は午後8時まで)

(ただし、入館は閉館の30分前まで)



大阪府民児協連 蔵

民生委員・児童委員が
応援団!!

わがまち
★逸品★

河内長野市民児協

Vol.4

プレゼントの商品の紹介

社会福祉法人
聖徳園
ワークメイト
聖徳園のみなさん

河内長野市にある「ワークメイト聖徳園」は、心身に障がいのある方の社会参加と生活の自立と向上を図る場として、昭和59年に開設されました。約65名の利用者さんが、プラスチック成形や組立加工、栽培、製菓といった様々な仕事に取り組んでいます。

中でも、最近、力を入れているのが喫茶部です。緑豊かな表通りに、喫茶店「おやまだのクッキーと紅茶の店」を併設。おしゃれな内装の店内にはオ



ゆっくりくつろげる落ち着いた雰囲気
の店内。

ルゴール曲が流れ、近くの公園を散歩する人やご近所の方々の憩いの場として、地域に親しまれています。

この喫茶部では、利用者さんが接客からお菓子作り、袋詰めまでスタッフと一緒に取り組んでいます。喫茶店では、おいしい紅茶やコーヒーと共に焼き菓子を提供。「せっかく作るならいいものを作ろう」と素材にこだわり、材料には北海道小麦、国産バター、てんさい糖、こめ油、有機栽培のアーモンドプードルなどを使用しています。20種類以上のクッキーとシフォンケーキやタルト、バターケーキなど種類も豊富。ここで作る焼き菓子は、喫茶店はもちろん、道の駅や福祉施設、近くの短大生協でも販売しています。



ひとつひとつ丁寧に作られた、こだわりの焼き菓子は、地元でも大人気!



「みどりのいぶき〜奥河内アソートギフト〜」は、バラ売りでも購入可能です。

平成28年の障がい福祉事業所で作られたお菓子のコンテスト「第8回スイーツ甲子園」



大阪大会で、ワークメイト聖徳園のお菓子の詰合せ「みどりのいぶき〜奥河内アソートギフト〜」がグランプリを受賞しました。これは、河内長野市の地酒「天野酒」の酒蔵から仕入れた酒粕を練り込んだクッキーやフィナンシェ、ラスクなどを詰合せたもの。「地元の材料を使って、地域を盛り上げるために力を入れています。お子様も食べられるよう、酒粕がほんのり香る風味に仕上げました」と喫茶部スタッフの加藤さん。

また、栽培部では、昨年から苺の栽培に取り組んでおり、将来的には、ここで作った苺を乾燥パウダーにして、ロールケーキなどのお菓子作りに活かしていきたいと考えているそう。このほか、地元農家のトマトやみかんを材料に使用するなど、地元・奥河内の特産品を使った製品づくりに積極的に取り組んでいます。



美味しい苺は、聖徳園の高齢者施設、保育所でも、大変喜ばれています。



「民児協の役員が集まる会議では、役員から会費を集めてコーヒーセットを注文しています。研修に行く際の手土産に購入することもあります。これからも連携・交流をして、障がい者支援につなげていきます」と話す河内長野市民児協会長の千田利勝さん

★注文・お問い合わせ先★

〒586-0094 大阪府河内長野市小山田町379-13
TEL. 0721-55-6568 FAX.0721-55-0517

編集後記

100周年記念大会は、府内の民生委員・児童委員が一堂に会する貴重な機会となりました。民生委員の父 林市藏元知事の銅像をご覧になったことはありますか?銅像の横に、100周年記念碑を新設しました(本誌5P)。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

Well おおさか

vol.39
(通巻72号)



発行日:平成30年7月

発行:大阪府民生委員児童委員協議会連合会

事務局:大阪市中央区中寺1-1-54 大阪府社会福祉協議会内

TEL.06-6762-9486 FAX.06-6762-9487

URL <http://www.osakafusyakyo.or.jp/minkyo/>



QRコードから
簡単アクセス